

まんさく

第258号

発行

特別養護老人ホーム光寿苑
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
koujhu@fancy.ocn.ne.jp
題字 元理事長 太田 祖 電



～稲刈りの時期に“田植え踊り”を披露してお年寄りに笑って頂きました♪(笑)～

関連記事は2頁！



どこもかしこも「敬老会中止」の声や上がる中、式典や宴は難しくても、敬い祝う時間は創れるのでは！という職員たちの思いがこの様な形へと繋がりました♪
季節外れ？の田植え踊りへ我々これしか踊れないもので(笑)を汗かきなやら々々所でク回舞いました。少々下手な方がウケがいいのか、お年寄りたち手拍子と笑顔で応援して下さいました。感謝♡

敬老の式典や宴会はできなくても
踊りでお祝い！
光寿苑敬老の日
〔2020年9月17日〕

敬老の日フォト♪ ～9月17日～



農協様のりんどうも満開でお祝い♡

ありがとうございました

寄贈

- ★ 佐々木 淳子 様 [湯 本]
- ★ 匿名 様 [野々宿]
- ★ おおしま商店 様 [湯 本]
- ★ J A 花 巻 様 [西和賀町]
- ☆ 谷 口 祐 子 様 [川 尻]
- ☆ 管 原 イネ子 様 [川 尻]
- ☆ 高 橋 修 様 [下の沢]
- ☆ 管 原 康 悦 様 [滝沢市]
- ☆ 小 松 陽 子 様 [大仙市]
- ☆ 北 島 正 敏 様 [宮城県]

★=光寿苑、☆=ひなたぼっこ

寄附

- ★ 藤原輝夫 様 [若 畑]
- ★ 田村隆也 様 [沢 中]

夕食介助お手伝い (9/1～9/30)

★ 匿名 様 [湯 本]

利用者の理美容 (9/5)

☆ 藤田陽子 様 [川 尻]

畑掘り (9/21)

☆ 菊地雄輔 様 [上野々]

心肺蘇生研修会 (9/25)

☆ 西和賀消防署員 様 … 1名

ボラ・訪問

今日も光寿会への支援



秋の味賞『栗』を皆で ご馳走になりましたよ♪

地元の方が拾って届けて下さった栗を、お年寄りと職員とで美味しくごちそうになりました。
やっぱり、旬の物は美味しい♪

秋の防災総合訓練 10月1日

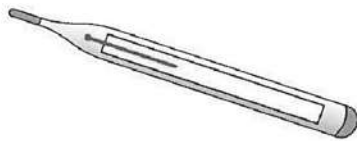


実際の研修を経て、その後の意見交換により、想定される状況下で利用できる物が使えるケースと使えないケースがあることを学びました。

【ひやりはっと及び事故まとめ】(令和2年度上半期)

前回R1年度上半期より『62件減』

場 所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
居 室	16	15	22	10	7	11	81
廊 下	2	5	2	1	0	0	10
ホー ル	0	2	2	0	1	2	7
浴 室	3	2	5	3	2	2	17
トイ レ	3	3	3	2	1	1	13
介 護 室	2	2	1	2	1	1	9
玄 関	0	0	1	0	0	0	1
茶の間	0	0	1	0	0	0	1
せせらぎ	0	0	1	0	0	0	1
ベ ッ ド	2	1	0	2	0	0	5
湯の町茶の	0	1		1	0	0	2
その他	2	1	1	1	0	0	5
合 計	30	32	39	22	12	17	152



所 見	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
内出血	5	6	11	9	8	8	47
表皮剥離	1	2	2	2	0	0	7
切り傷	1	1	1	1	0	0	4
擦り傷	0	0	1	0	1	0	2
爪外傷	2	2	1	0	0	1	6
怪我無し	21	21	23	10	3	8	86
合 計	30	32	39	22	12	17	152

事故内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
転倒・転落	9	9	10	6	0	1	35
外 傷	11	11	17	12	9	10	70
誤嚥・誤飲	1	0	0	0	1	0	2
異 食	0	3	1	2	0	0	6
紛失・破損	1	0	1	0	0	0	2
点 滴	1	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	1	0	0	0	1
見守りエラ	4	6	7	2	2	4	25
管理ミス	3	3	2	0	0	2	10
合 計	30	32	39	22	12	17	152

発生時間帯別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
6:00~8:00	4	1	3	1	0	2	11
8:00~12:00	5	12	7	6	1	4	35
12:00~18:00	13	9	12	6	5	7	52
18:00~22:00	5	3	7	5	2	2	24
22:00~6:00	3	7	10	4	4	2	30
合 計	30	32	39	22	12	17	152

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
要介護Ⅲ	5	8	11	3	0	4	31
要介護Ⅳ	10	15	14	11	4	7	61
要介護Ⅴ	15	9	14	8	8	6	60
合 計	30	32	39	22	12	17	152

【場 所】今回も居室がトップ。コロナ禍、部屋で過ごす時間も増えている事も大きな要因。

【発生時間帯】昼食後から夕方までの活動の活発な時間帯は夕暮れ症候群を含め増加傾向。

【事故内容】今回も転倒転落を抑えて外傷がトップ。入浴時等の観察にて内出血・表皮剥離等発見。

【所 見】内出血は少しの接触等で起こるのが高齢者の皮膚の状態。よりケアに注意が必要。

【介護度別】要介護4がトップ。重度でありながら動きが多い事も影響している。

想... 災害を捉える ***福島の今を拝聴します***

安易なキャッチコピーにご注意を…八幡朋行さん

3.11から9年7カ月…。安易なキャッチコピーに翻弄される日本社会の問題を感じる中、連載中の八幡朋行様（相馬市）より一筆頂きます。

安易なキャッチコピーにご注意を…

原発事故の避難で、人間関係がバラバラに引き裂かれたところへ、コロナ禍により、さらなるつながりや断たれ、焦燥感にかられています。そこにきて最近、勇気づけるニュアンスを含ませて「新しい生活様式が提唱されています。しかし、新しい」と提案されながら、例えは手洗いの推奨は、衛生面からすれば、これまで通りの当然のことです。

「外から帰ってきたら、手を洗いなさい！」

「言われ続け、それだけで済まず、何回言えば分かるの！」

「その小言までセットになっていました。ですから今になって、新しい生活様式△等と言葉巧みに諭されたくない気にもなりますね。」

言葉巧みというと、食品のパッケージにある写真の隅に、気づかないくらい小さな文字で、「写真はいメージ図です△」の標記をよく見受けられます。と言うことは、あれは表袋に写っているような食品が、必ずしも袋の中に入っている

る訳ではない…という注意書きなのでしようか。一見すると親切やうですが、懐疑的に読めば中身を誇張していること、強く言えば、嘘をついている状態をやらせているだけにはならないでしょうか。世の中にはこのように、「新しい生活様式△」や「写真はイメージです△」というキャッチコピーが沢山あります。確かに分かり易く、前向きで、親切であるように聞こえます。しかしそこには、物事を達成させるための意図が隠されている場合もあるわけで、無自覚・無批判に受け容れるのではなく、しっかりと吟味する必要があります。福島では、「原発は一番コストが安い△」という言葉のもとで、原発を誘致し推進してきました。しかし9年クケ月前の苛酷な事故により、この言葉の巧みさ、善いことをしているかのような欺瞞性、表現と内容が一致しないこと、暴露させられました。結果として、故郷・家族などが大切なものを失ったのです。決してコストでは測れない、買えないものです。その代償はあまりにも大き過ぎるのです。

双葉町に掲げられた原発推進の看板。2015年には撤去された



☆市外局番☆
 (0197)
 81 1313(ひなたぼっこ)
 81 1616(湖畔の宿)
 82 3939(FAX共通)

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
 住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

※今月の登録者の方々 20 名様です♪

食欲の秋！ 学びの秋！ … ひなたぼっこの日常



地元ソフトクリームに舌鼓中♡ … 栗拾いに無我夢中♪ … 救急救命講習中！

第3回『運営推進会議』(9月16日)

外部委員9名、職員4名

「コロナ禍の対応について意見交換がされた」

委1 在宅訪問をした際、「オレはコロナに罹ってないから大丈夫だから、これ食！」という場面が難しい。田舎の今までのやり取りであれば有難くご馳走になるところが、今は判断に悩む。お客様さんにお茶も出さないのは失礼にあたると思われる。いながら、コロナ禍では失礼にはならないという解釈もお年寄りには受容し難い。

委2 グラウンドゴルフの大会をやっている市もある中、西和賀町はかなり気を使い過ぎて中止になった。

委3 各団体のコロナ対応の考え方が違うため、グッコッチとそっちを統一しましょう。とは中々できない。

職1 職業別でも意識にギャップがある。医療介護職ではあたり前の危機管理のケースも、違う職業の方では気にも止めない事柄も在る。

委3 インフルエンザ予防接種は、10月から受けられる。ニュースを観たが、こちらはどうか？

職1 お年寄りは10月第2週、職員は第3週と、一般よりも優先して受ける予定ですが。

委4 肺炎球菌ワクチンの注射は、今年受けられるものか？

委1 今年通知が届いている人は受けられる。しかし、去年届いていた人が今年受けたいという場合は難しい。また、基本今年に一度しか接種できないという目安も知っておいて頂きたい。

委5 インフルもコロナも、予防対策は基本同じ。しかし、しっかりと手洗い・うがい・マスク着用等の基本を実施する事が大事。今冬、コロナが騒がれて以降にインフルが少なかったのは、コロナ対策をきちっとしたからでは？という情報もあります。冬場の換気の課題もあるが、十分注意して実施致します。

第58回

沢内に伝わる十五夜の行事

豆っこ盗み

不定期シリーズ



沢内地区の十五夜の伝統行事「豆っこ盗み」は、地域の子どもたちが農家の畑に入り作物をとって食べるというもの。無我夢中で沢山食べられた農家は豊作を意味した。近代は、市販のお菓子を準備する形に変わったが、十五夜に沢山の子どもで今も賑わった。

豆っこ盗みの子どもの様子を激写!(笑)

地域 介護の魅力発見! 10月2日

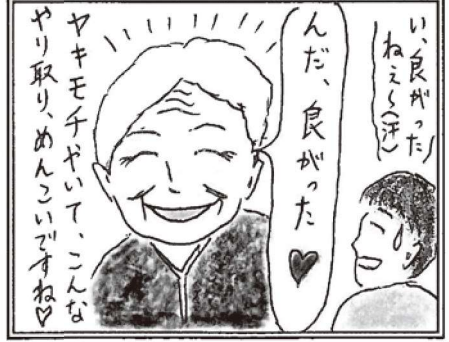
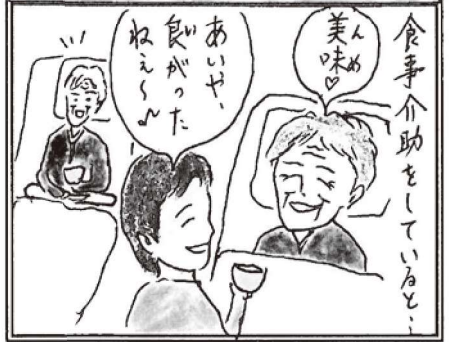
湯田小学校6年生を対象に地元福祉事業所が講座実施



地域の窓

世間というか、国等から介護のマイナスイメージを日本中に発信してしまっただ時があり、その影響は大きく、日本中で介護人材を集めにくい状況が続く。その中で、未来を担う子どもたちに、介護のプラスイメージを持つてもらおうと始動した当プロジェクト。西和賀町担当者課職員と西和賀町社協・清水苑・ぶなり園・光寿苑とでチームを結成。実話を元に作り上げた劇を演じる「介護おとぼけ座」が町内の小中学校を渡り歩く。こけら落とし公演の湯田小学校6年生も真剣にご覧下さった。どうが笑ってやって下さい

光寿会の日の々 258号



イラスト：1000

このやきもちをやいているおばあちゃん、いつも何回も声を掛けて下さる方。あまりに同じ事を繰り返すと言われると、返事も素気なくなってしまう私。すると、カーテンの向こうから、「お寺さんだは何だか冷ごえな。と返ってくる！言葉の物より音が大事！

月影の至らぬ里はなけれども

眺むる人の心にぞすむ

《法然上人》

第五十七回 マルタン房

自然法爾（じねんほうに）

久しぶりに街に出て、行きつけのスーパーに立ち寄ったら、駐車場で御門徒の奥さんに会いました。ご挨拶して手元を見ますと、又スキの穂束が...

お月見ですか？

ええ、昔からしていることが今も辞められず、すぐその土手から取ってききました。

外国は知らず、日本人の情念にしみ込んだ季節行事ですね。この行事の美しさは、商業主義に染まらないところかもしれない...ふと思いました。

古来、月を詠んだ名句は沢山あります。冒頭に掲げた歌は、叙情性と言うよりは、

悲しみを生きる人間が、自己に月覚める道理を詠んだ歌として、月が歌には珍しいものかと思えます。夜、深い、わだかまりを

抱えて外に出ると、ふと、「お前は今、辛い思いをしているね」と語りかける声を聞いたよう。気がついて、見上げると、天空にはお月さま。ああ、今宵は名月だったか。気がつかないまま歩いてきたが、私はお月さまに見つめられていたんだなあ。私は光の中を生きていたんだ。

私たちは、こういう体験をもってきたんですね。

丸田善明（マルタン房）

おわりに

先月、尊敬する恩師・真城先生のご法話を聴聞した。

「私たちが凡夫には本当の正義も善も分かりません。親鸞聖人は、善悪の二つ総いてもって存知せざるなり」と言われます。「正信偈」に「善悪凡夫人」とある。善凡夫とは、正義を振り回す凡夫ですかね。遠藤周作は、悪魔に対して「善魔」と言っています。正義に燃えるあまり、眼がくらんで、その感情に突き動かされる（中略）自分はよいことをしている。だから自分の行為をすべて相手は認め、受け入れなければならぬという気分が押し進んでくる。

善魔は誰なのか。私自身である。

※「生き上手 死に上手」(遠藤周作)